

平成28年度 中津市立三郷小学校 学校プラン

学校教育目標 (児童像・学校像など)	【豊かな心と確かな学力を身につけ、たくましく生きる山国の子どもの育成】(めざす児童像)・みずからすすんで学ぶ子 ・さいごまでやりぬく子 ・ともだちとなかよくする子 (めざす学校像)・共に学び合う学校 ・活気あふれる元気な学校 ・心のふれあう楽しい学校 ・地域と共に育つ学校
-----------------------	---

本年度の重点(チャレンジ目標)				4~8月 第1回自己評価	~12月 第2回自己評価	~2月 第3回自己評価		
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	取組状況	評価・改善	取組状況	評価・改善	重点目標・達成指標の評価
基礎基本の定着と 活用力の育成	○学期ごとのまとめのテストで、以下の点数を各学年児童割合 80パーセント以上にする。 ・85点以上(低)・80点以上(中) ・75点以上(高) ○中津市学力状況調査で評定1の児童を半減する。	○自分の考えを持ち、伝え合い達成感の持てる授業の徹底。(教科内容の習得・自己決定・自己存在感・共感的人間関係の面) ○家庭学習の徹底・習慣化(各学年の課題に応じて)	○その授業で何を学ばせるのかという教材のねらいを毎時間きちんと持ち、板書(「めあて」「課題」「まとめ)」に表す。 ◇セルフチェックと隣接学年での見合い・確認をする。 ○家庭学習チェックをもとに、未提出児童の情報交換を行う。さらに、共通理解した上で、その改善策を探る。 ◇がんばりカードや決意カード(高)の見直しをし、振り返りの場を持つ。	・教材のねらいを毎時間、板書(「めあて」「課題」「まとめ)」に表すことが徹底できてきた。 ・家庭学習の手引き・がんばりカードや決意カードの取組を行い、改善するための指導も行った。	・自分の考えを持つ場は、設定できたが、その後が児童主体の話し合いになっていない。 ・保護者アンケートによる家庭学習の定着度が70%を超え、昨年の3学期より約10%伸びた。			
あいさつができる 子の育成	○自己評価アンケート(児童・保護者・教職員)で「三郷小の子が先に明るくあいさつをするようになってきた」と回答した割合を80%以上にする。	○児童同士であいさつについての評価をさせ、児童からあいさつの輪が広がる「あいさつの木」の新しい取組の実施。 ○家庭と学校が連携し、大人から積極的にあいさつしたり子どもに声をかけたりする。 ○相手の気持ちを考えた言葉遣いの習慣化。	○児童会が主体となり「あいさつの木」の取組を呼びかけ、クラスの反省をして毎日木の花を塗らせる。 ○問いかけに対してきちんと返事をさせる。できていない場合はその場で言い直しをさせる。 ○PTAと連携し、保護者によるあいさつ運動・学期に2回家庭でのあいさつ強化週間を実施する。 ○月に1回程度、発達段階に応じた SST の学習を行う。 ○学級担任が帰りの会で今日の「ふわふわ言葉」をあげさせ、反省させる。	・「あいさつの木」の新しい取組が児童会主体で各学年に位置付いた。 ・学期2回家庭でのあいさつ強化週間を実施できた。 ・SSTの学習+「ふわふわ言葉の木」の取組を児童会主体で行った。	・保護者アンケートでの「先にあいさつをしている」が84%であった。2学期も継続した取組を行う。 ・P校外指導部以外の保護者に朝のあいさつ運動に参加要請をかける。 ・どんな言葉がふわふわ言葉なのか児童が意識できるようになっていた。			
進んで運動する 子の育成	○体力テスト県平均を70%以上にする。 ○「休み時間によく運動場や体育館で体を動かして遊んだ」と回答した割合を80%以上にする。 ○「朝ごはんを毎日食べている」と回答した割合を80%以上にする。	○授業の始まりに学年の学習内容や発達段階に応じたサーキットトレーニングの実施。 ○自分ができるだけよい体調で過ごせる健康・生活リズムの習慣化。	○サーキット内容の共通理解を図り、学年の発達段階に応じた基本メニューをもとに行う。 ○毎月第2週の生活リズムチェック表に引き続き取組、事後の指導・支援を行う。	・体育の始まりにサーキットトレーニングの実施されている。 ・毎月第2週の生活リズムチェック表の取組は計画通りに実施した。	・体力テストの種目が日常的に取り組めるようにさらに環境整備を行う。 ・就寝時間が遅かったり、起床時間が遅かったりすることが理由で朝ごはんを食べない児童がまだいるが、減少傾向にある。			

平成28年度 全国学力・学習状況調査(対象小6・中3)		
教科等	結果	特徴(○成果 ●課題)
国語A		
国語B		
算数A 数学A		
算数B 数学B		
質問紙		

平成28年度 大分県学力定着状況調査(対象小5・中2)		
教科等	結果	特徴(○成果 ●課題)
国語	知識	○話の内容を聞き取る、漢字を読む・書く、言葉の学習、作文の正答率は75~100%で、概ね県正答率より約+2P。学校全体の正答率は県正答率より+3.4P
	活用	●物語の内容を読み取る、説明文の内容を読み取るの正答率は58~69%で、概ね県の正答率より約-4~10P ○無回答なし
算数	知識	○計算の復習、億と兆・概数の表し方、わり算、小数、分数、角の大きさ、計算のきまり・変わり方調べ、折れ線グラフと表の正答率は80~95%で、概ね県正答率より約+4P。学校全体の正答率は県正答率より+4.3P
	活用	●面積、いろいろな形の正答率は50~60%で、概ね県正答率より約-5~10P ○無回答なし
理科	知識	○1年間の動物の様子、動物の体のつくりと運動、月と星、水のすがた、物のあたたまり方の正答率は75~90%で、概ね県正答率より約+2P~5P。
	活用	●電気の働き、自然の中の水の正答率は40~50%で、概ね県正答率より約-10P。学校全体の正答率は県正答率より-0.2P ○無回答は一人で一問だけ
英語(中のみ)	知識	
活用		
質問紙		○「社会参画」では、全国値を越えている。話し合いの時、自分の意見を積極的に発言する「思いを伝える力」は強い。また、「生活習慣」は、昨年度からの『生活リズムチェック表』の取組によって、全国値より良い傾向にある。 ●「学習習慣」については、「週末の学習時間」「家での予習復習」など全国値を下回っている。

平成28年度の特徴的な教育活動	
学力面	○自分の考えを持ち、伝え合い達成感の持てる授業の徹底。 ○家庭学習の徹底・習慣化(家庭学習の手引き・がんばりカード・決意カード(高)の活用)
生活面	○あいさつ運動、ふわふわ言葉の推進。
体力・健康面	○体育の授業始まり5分のサーキットトレーニング、運動量のある授業。朝のかけ足。外遊びの奨励。生活リズムの徹底。学校内でのフッ化物洗口の実施。

次年度に向けた課題(重点目標設定・指標の設定 取組内容 組織力向上など)	
	○下位層の引き上げ。(スキルタイム・放課後補充学習(月・金)・家庭学習の徹底)